

食品産業担う受講生32人入校

高知大の土佐FBC

食品開発のスキルや考え方などを学ぶ高知大の社会人講座「土佐フードビジネス

スクリエーター」(土佐FBC)に、今年は製菓業や養鶏家など食品産業に携わ



オンラインで行われた土佐FBCの開講式＝高知大提供

る32人が入校した。南国市の高知大物部キャンパスであった3日の開講式では、新型コロナウイルス感染症防止のため、受講生はウェブ会議システムを用いたオンライン形式で参加した。

土佐FBCは、高知の食品産業の中核を担う人材を育てるため2008年に始まった。受講生は1〜2年のカリキュラムで、商品開発や事業戦略のスキルや考え方を学ぶ。これまで「にっぽんの宝物コラボグランプリ」「高知家のうまいもの大賞」などの受賞者を輩出してきた。入校した旭食品の米田悠佑さん(33)は「講義や受講生との交流を活用し、研究開発の基礎を身につけたい」と話した。

(湯川うらら)